

# 文化の森 てんえい

## 図書室だより vol. 1

平成28年6月1日発行

いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただき、ありがとうございます。  
皆さんに図書室の良さを伝えるため、図書室だよりを発行することとなりました。  
新作の小説や児童書をたくさん紹介していきますのでぜひ図書室にお越しください。



## 文化の森からのお知らせ

文化の森 てんえいでは、5月18日(水)に、天栄村パソコン愛好会の皆さんにより、駐車場前の花壇に花を植えてもらいました。

午後の暑い時間にもかかわらず、皆さん笑顔で花を植え、1時間ほどで終了し、花壇には色とりどりの花が咲きました。

皆さんもぜひ、色とりどりの花を見て癒されてはいかがでしょうか。



## 今月のおすすめ本紹介コーナー

月間おすすめ本紹介コーナーでは、読者の皆さんから図書室内の本について他の人にお勧めしたい本を200文字程度で書いてもらいその作品を紹介するコーナーとなります。

おすすめ本紹介は、図書室カウンター前に応募用紙がありますので、おすすめしたい本がありましたらぜひ投稿してください。

- ・募集期間 平成28年5月2日(月)～平成29年2月28日(火)
- ・募集内容 文化の森 てんえい「図書室」内にある図書
- ・投稿文字数 200文字程度
- ・その他 投稿して頂いたお礼に、参加賞を贈呈いたします。

・今月は、文化の森 てんえい 館長 のおすすめしたい本を2作品紹介いたします。

### 【 日本人の手紙 第8巻「遺書」 】 紀田 順一郎監修 リブリオ出版

遺書とは、文字通り「遺す書」である。自らの「死」を自ら実感した者のみがかけることのできる文学であると思ふ。その境地を迎える状況は様々だが、その文体には、いずれも神々しいと感じる。

小説家、政治家、農民、運動選手、それぞれ生きてきたあとの最後の言葉を手にしたときに、私も自身の言葉を探さずにはいられなくなる。



### 【 教団X 】 中村 文則著 集英社

なぜ生きている。なぜ

松尾と沢渡という二人の教祖の中で自己の存在を問い続ける信者たち。それぞれの思惑の中で世の中が大きく動く。はたしてこれは、神の定めた道なのか。

芥川賞受賞作家のお笑い芸人、又吉が薦めていた本だったので読んでみたが、内容も面白かったが、人間の存在について問われているようで心が震えるようだった。

是非一読を

